

～ 国際研究 ～

インドネシア最高裁判所少額訴訟制度等研究

国際協力部教官

甲斐雄次

第1 はじめに

2014年11月30日（日）から同年12月2日（火）まで（移動日を含む。）、国際協力部において、インドネシア最高裁判所事務局長を団長とする研究員12名（別紙1参照）に対する少額訴訟制度及び調停に関する研究（以下「本研究」という。）が実施された。

第2 本研究の背景

インドネシアは、1998年のスハルト体制崩壊後、司法制度改革を重要な国家的課題と位置づけ、2010年から2014年までの国家開発計画（中期）も、グッドガバナンスを第一の目標として掲げている。また、インドネシア最高裁判所は、2010年から2035年までの「ブループリント（詳細計画）」において、司法サービスの提供を取り組むべき事項の一つとしているところ、司法アクセスを改善するための新たな試みとして、現在、少額訴訟制度の導入等を検討している。

他方、法務総合研究所国際協力部は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の実施する「インドネシア和解・調停制度強化支援プロジェクト」において、公益財団法人国際民商事法センターと協力し、2007年3月から2009年3月までの2年間、インドネシア最高裁判所を支援対象機関として、和解及び調停に関する最高裁判所規則の改正や調停人養成研修制度の改善といった成果を残した。同プロジェクトを通じて、インドネシア最高裁判所からの我が国に対する信頼も更に強化されたことから、法務総合研究所国際協力部は、上記プロジェクト終了後も、法務省独自の支援として、2011年度以降、インドネシアの裁判官人材育成及び能力強化に資する共同研究を実施してきた。

このような中、インドネシア最高裁判所から、日本における少額訴訟制度及び調停を研究したいとの要望を受けたことから、本研究を実施したものである。

第3 本研究の概要（別紙2 日程表参照）

本研究では、日本の少額訴訟制度及び調停に関する知見を提供し、今後のインドネシアにおける運用改善や制度導入に向けた検討材料にしてもらうことを目的とした研究日程を組んだ。

まずは、研究員に日本の調停及び少額訴訟制度を理解してもらうため、当職から制度の概要や手続の進め方の一例などを紹介し、その後、大阪簡易裁判所を訪問して、研究員に実務の運用等についての理解を深めてもらうこととした。また、研究員の関心が高かった裁判官の身分保障に関しても当部教官からの講義を行った。

大阪簡易裁判所では、少額訴訟と調停に関して、各担当裁判官からの概要説明に続き、裁判官及び書記官との意見交換の機会をいただき、研究員らは裁判所での運用状況に関する実務的な知見を得ることができた。また、裁判官室、調停室等の施設見学のほか、実際の少額訴訟の審理を傍聴させていただいたおかげで、研究員らは、より具体的な運用のイメージが持てた様子であった。

さらに、研究員らは大阪で当部が実施した本研究終了後、東京に移動して、引き続き学習院大学の草野芳郎教授主催による研究プログラムに参加した。なお、草野先生の御好意により、当職らも同プログラムに帯同させていただいた。研究員らは、同大学において、調停等に関する理解を更に深めた様子がうかがえた上、最高裁判所を訪問して、事務総局の担当者からも少額訴訟及び調停に関する制度運営の視点からの知見を得たことで、非常に満足した様子を見せていた。

第4 おわりに

本研究に参加した研究員らは、いずれもインドネシア最高裁判所事務局における要職に就き、インドネシアで取り組まれている前記司法制度改革について、中心的役割を担っている方々であり、本研究において、少しでも日本の運用を参考にしようと活発に質疑・意見交換を行うなど、非常に意欲的かつ熱心な様子が見受けられた。研究員らの感想や充実した様子から、本研究及び草野先生主催の上記プログラムを通じて得た知見は、必ずや今後のインドネシア最高裁判所における制度設計に活かされ、ひいてはインドネシアの司法が抱える課題を解決する一助となるものと期待している。

最後に、充実した訪問プログラムを実施していただいた裁判所関係者の皆様、草野先生を始めとする学習院大学の関係者の皆様、通訳の呼子紀子氏その他関係者の皆様に心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

以上

インドネシア最高裁判所・少額訴訟制度研究研究員名簿

1	ヌルハディ
	Mr. Nurhadi
	最高裁判所事務局長 (Secretary of the Supreme Court of Republic of Indonesia)
2	アチョ・ヌル
	Mr. Aco Nur
	最高裁判所総務局長 (Head of the Administrative Affairs)
3	ヘリ・スワントロ
	Mr. Herri Swantoro
	最高裁判所裁判局長 (Director General of the General Court)
4	バーリン・ルビス
	Mr. Bahrin Lubis
	最高裁判所総務局企画課長 (Head of the Planning Bureau)
5	ステイスナ
	Mr. Sutisna
	最高裁判所総務局経理課長 (Head of the Finance Bureau)
6	ラムダニ・ドウドウン
	Mr. Ramdani Dudung
	最高裁判所総務局庶務課長 (Head of the General Affairs Bureau)
7	ムハンマド・アシャル
	Mr. Muhammad Ashar
	最高裁判所総務局施設課長 (Head of the Equipment Bureau)
8	ザロフ・リカール・アズワル・ゼン
	Mr. Zarof Ricar Azwar Zen
	最高裁判所裁判局秘書官 (Secretary of Director General of The General Court)
9	トゥリ・ディアナ・ウイドワティ
	Ms. Tri Diana Widowati
	最高裁判所総務局管理課長 (Head of the Secretariat for Leadership Bureau)
10	ティン・ズライダ
	Ms. Tin Zuraida
	最高裁判所管理職研修所長 (Head of the Management and Leadership Training Center)
11	スシロワティ
	Ms. Susilowati
	最高裁判所長官秘書 (Secretary of the Chief Justice of the Supreme Court)
12	ジョコ・ウポヨ・プリバディ
	Mr. Joko Upoyo Pribadi
	最高裁判所総務局法制広報課情報管理係長 (Head of the Maintenance Department of Infrastructre Information)

(別紙2)

インドネシア最高裁判所・少額訴訟制度研究日程

[教官: 甲斐教官, 横幕教官 専門官: 若生専門官, 白井専門官]

月日	曜日	10:00 12:30	14:00 17:00	備考	
11 / 日 30		移動日			
12 / 月 1		ICD オリエンテーション 甲斐教官	10:30~ 【講義】日本の調停制度 甲斐教官 国際会議室	12:15~13:15 部長主催意見交換会 甲斐教官 国際会議室	【講義】少額訴訟 甲斐教官 国際会議室
12 / 火 2		9:45~12:00 【訪問】大阪簡易裁判所見学	【講義】裁判官の身分保障 横幕教官 国際会議室	15:30~ 【総括質疑応答】 国際会議室	